

# 川北保全協

阿南市那賀川北岸地域広域保全協定運営委員会

みんなで守ろう地域の宝 農地・水・環境



徳島県阿南市（羽ノ浦町・那賀川町）

1

## I. 地区概要

母体となる那賀川北岸土地改良区

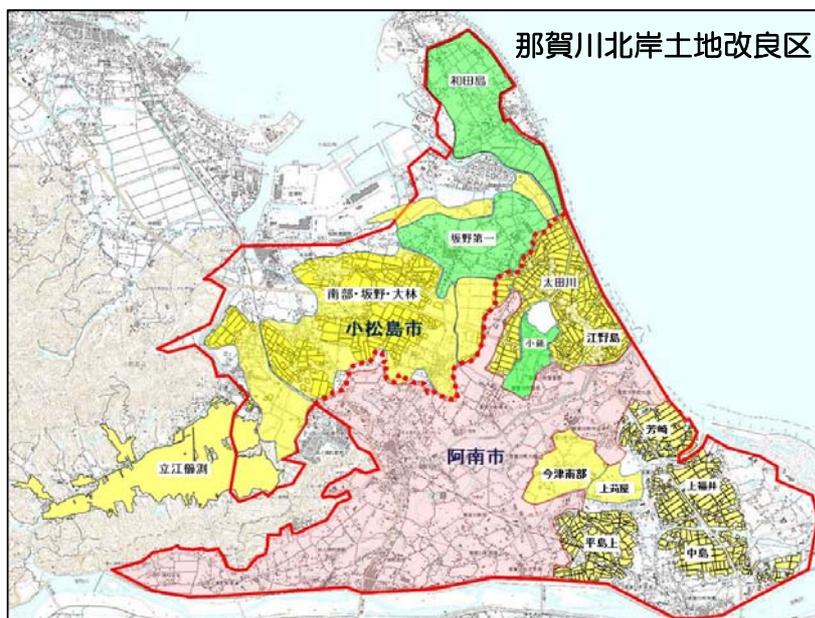


- ◆那賀川北岸土地改良区は阿南市の北東部、一級河川那賀川の北岸河口域に発達した三角州の左岸に位置し、稲作を中心とする農業地帯。
- ◆農業の担い手の減少、国営及び県営事業で整備された水路の老朽化。
- ◆都市化・混住化が進行したことで、用水路水質汚濁や維持管理の担い手不足など、都市近郊農業の抱える問題が顕在化。

2

## Ⅱ. 広域組織の設立経緯

平成26年度に、都市混住化が進む那賀川北岸域の農地の保全や環境保全を行うことを目的に、既に農地・水保全管理支払交付金等の実施地域を除く、阿南市の15集落により広域組織を設立。



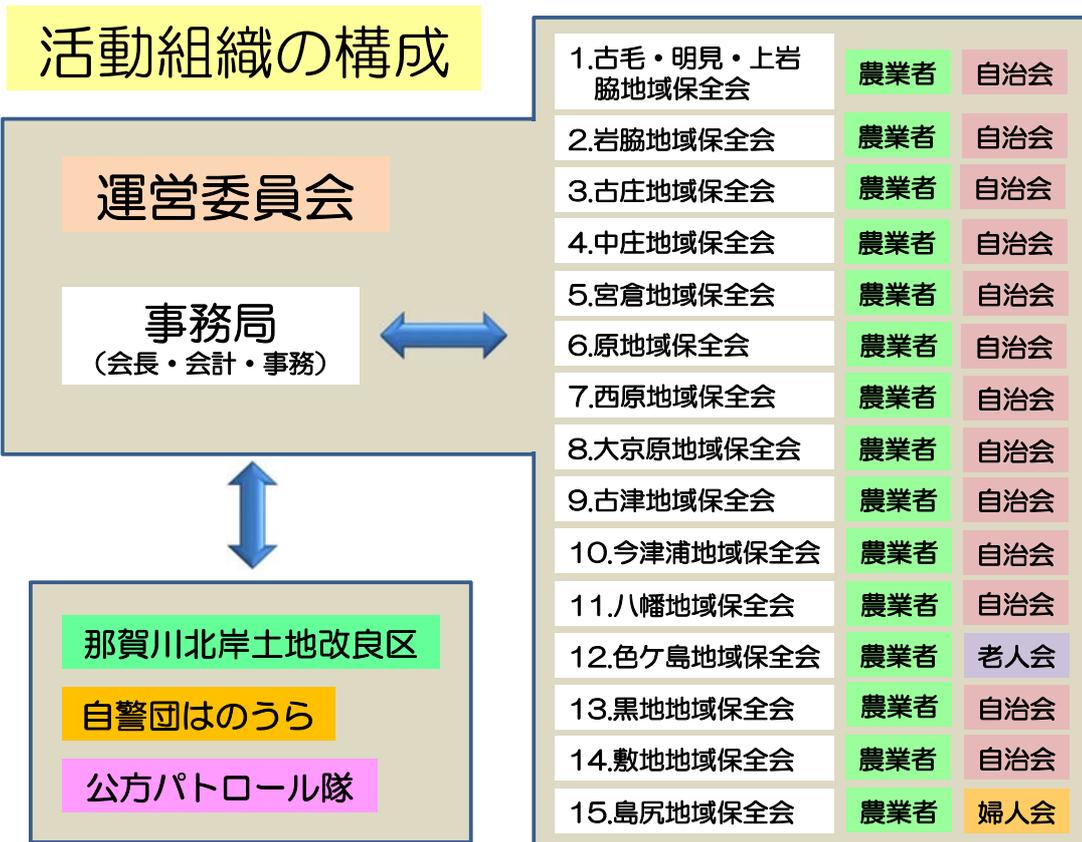
3

## Ⅲ. 組織の概要

開始年度	平成26年度より活動
取組活動	農地維持支払、資源向上支払（共同活動、施設の長寿命化）
協定農用地面積	田；394.36ha（H26年度418.77ha）
資源量	開水路；137.7km　農道；13.1km ため池；1箇所
交付金（年額） H29	農地維持；　　11,830,800円 資源向上（共同）；　7,098,480円 長寿命化；　　15,071,723円
集落数	15集落
戸数	農家戸数：1,124戸（うち専業農家：38戸） 農家以外：25団体

4

大字単位で15保全会により広域を組織した。  
 (水利組合単位では約50の組織となる)



## IV. 活動の内容

### 1. 農地維持活動・資源向上活動（共同）



7

### 2. 資源向上活動（施設の長寿命化）



8

### 3. 資源向上（農村環境保全活動）

#### （1）コスモスリンク in 川北

遊休農地等を活用し、かつて賑わっていた「コスモス祭り」の復活を願い、「コスモスリンク」と称して、11箇所、約13haの農地でコスモスを植栽。平成27年度からは、園と園を結ぶウォーキング大会や、できる限り多くの園を楽しんでいただくスタンプラリー、また、各地域保全会の活動を知っていただくフォトギャラリーを実施。平成30年度で4回目の開催となり、平成29年度は300名程度が参加。



ウォーキング大会



スタンプラリー



フォトギャラリー

2016 第2回 コスモスリンク in 川北

秋探し！  
コスモスに逢いにゆく。

本年度も昨年と同様に地域内11カ所、14ヘクタールでコスモスを咲かせます。開花情報をご確認の上、皆さまでお楽しみください。

お知らせ 第2回 ウォーキング大会 コスモスの見頃に合わせて、2カ所をめぐるウォーキングを開催します。

11月13日 受付 9:00 出発 10:00 開催地 郡山川原川敷第3緑地

コースA 出発→堤防→古毛・明見ゾーン→香島台公園→ミコ28号→若殿ゾーン（せんざい）→郡山川原川敷第3緑地

コースB 出発→堤防→古毛・明見ゾーン→若殿ゾーン（せんざい）→郡山川原川敷第3緑地

※途中、北岸用水の中を歩きます。（沢尻の増田）

※申し込み 代表者の住所、氏名、年齢、電話番号、参加者数（大人・小人）をTELまたはメールにて事務局までお申込みください。締切日 11月4日

要予約

みんなで守ろう地域の宝 農地・水・環境

事務局 阿南市那賀川北岸地域広域保全協議会(川北保全会)

〒779-1101 阿南市青ノ浦町中庄上ノカ1-15-1  
TEL 0884-24-8318  
email kawaki@ho15@tiara.ocn.ne.jp



### 3. 資源向上（農村環境保全活動）

#### (2) シンボル広場（舟のある広場、菖蒲栽培の実施）

##### ① 手作りによる造成作業（H27年度）



全景



舟設置



園の整備



花しょうぶ植栽



花しょうぶ植栽



ウッドデッキ造成

11

##### ② 花ごよみ



12



13

### ③第1回舟のある広場まつり（平成28年6月）



子ども獅子舞



フラダンス



フラワーアレンジメント

### ④第2回舟のある広場まつり（平成29年6月）



箏とハーモニカ



子どもフラダンス



グループサウンズ

### ⑤第3回舟のある広場まつり（平成30年6月）



14

### 3. 資源向上（農村環境保全活動）

#### （3）EM団子投入による水質保全



15

### 3. 資源向上（多面的機能の増進を図る活動）

今津幹線保全活動（平成26年12月25日～27年2月3日）

＜整備前の状況＞



規模等

- 水路延長 260m
- 立木本数（直径200mm以上）90本、その他無数
- 伐採面積4,400㎡
- （山林状態2,000㎡ 竹藪状態2,400㎡）

16



<作業中>



<ゴミ拾い>



<完成>

### 実施状況

- 幹線に隣接する3集落の有志
- バックホー、チェーンソー、トラック、草刈機併用

### 処理

- 業者委託、自宅処理、一部焼却
- 最終日：地元と共に、土地改良区、農地防災事業所、県・南部県民局と共に周辺のゴミを拾い完了



ひまわり植栽



コスモス植栽



不在地主の土地利用(いも栽培)

## IV. 活動の内容（成果と将来の姿）

- 農地維持活動を通じ、醸成された連帯感により、災害等緊急時における共同活動、救助活動が期待できるようになった。
- 遊休地について、草刈りや今後の対策などを検討する中で、耕作地として地域の担い手に集積することができた。
- 環境保全活動としてJA婦人部や住民による景観作物の作付けやイベントを実施したが、近隣住民、また保育所の園児等との交流を通じて連帯感が生まれるとともに、地域の活性化がはかられた。
- 水路の維持管理において、土地改良区の管理延長が長大なため、日常管理が手薄になっていたが、地域の維持活動としての自発的な活動により、良好に維持されるようになり、周辺住民からもよろこばれている。

## V. 特記事項

### 広域活動組織にしたからこそ出来たこと

- ①幹線沿いの荒地の保全のように単独ではできない作業が可能になった。
- ②環境保全活動でシンボリックなこと、及び全域にわたるイベントが実施できたこと。
- ③長寿命化予算の執行に当たり効率的な執行ができたこと。

19

## 終わりに

### 次期組織の取組について

項目	現状	各保全会の意向	
組織について	広域組織	現状どおり (弾力的な運営)	単独 (人材不足)
経理について	事務局で一括	現状どおり	各保全会で処理 (事務困難・人材不足)
保全会の単位	大字単位	現状どおり (話しがし易い)	水利組合単位 その他
農業者以外の団体について	自治会・協議会 老人会・婦人会 自警団はのうら 公方パトロール隊	現状どおり	他の活動団体

20